

事前申込み方法

下記のURLもしくは2次元コードから
事前参加登録のご協力をお願い致します。

<https://x.gd/D5PAQ>



ホテルメトロポリタン池袋
豊島区西池袋1-6-1

ご不明点がございましたら下記にお問い合わせください。

千寿製薬株式会社 吉田 浩人

Mail: hiroto-yoshida@senju.co.jp TEL: 080-8926-3473

第41回

帝京大学眼科 学術講演会

(専門医認定事業申請中:59242)

現地開催のみ

会場参加1単位

日本眼科学会
専門医制度委員会の
見解より、
1単位を取得できます。

惜秋の候、先生方におかれましてはご清祥の事とお慶び申し上げます。
さて、この度「第41回帝京大学眼科学術講演会」を下記の要領で開催させていただきます。
ご多用中恐れ入りますが、万障お繰り合わせの上ご出席賜りますようご案内申し上げます。

日時

2026年10月17日(土) 17:00~19:00

会費

1,000円

場所

ホテルメトロポリタン池袋3F 朝日(豊島区西池袋1-6-1)

TEL:03-3980-1111

ACCESS

電車

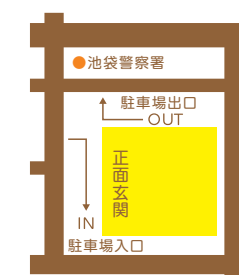
- JR池袋駅メトロポリタン口より徒歩1分
- 池袋駅西口(南)より徒歩3分

お車

- 首都高速
- 西池袋インターより5分
- 北池袋・護国寺・東池袋インターより7分

正面玄関のロータリーよりお入りいただき、玄関前を通過して地下駐車場へのスロープをお降りください。

※駐車場のご予約は承っておりません。
※土・日・祝は混雑のため、満車場合がございます。
※飲酒後の運転はお控えくださいますようお願い申し上げます。



当会は、現地での会場開催となります。情報交換会等の準備のため、参加人数をご確認させて頂きたく
裏面URL、または2次元コードにて、事前に出欠登録をお願い申し上げます。

特別講演Ⅰ 17時00分~18時00分

座長: 澤村 裕正 先生(帝京大学医学部眼科学講座 教授)

演者: 内野 美樹 先生(ケイシン五反田アイクリニック 院長)

「この一滴が世界を変える
— TRPV1拮抗薬が拓く“目を潤す”新たな治療選択肢と実臨床への期待 —」

特別講演Ⅱ 18時00分~19時00分

座長: 井上 裕治 先生(帝京大学医学部眼科学講座 主任教授)

演者: 大鹿 哲郎 先生(筑波大学 特任教授)

「白内障・前眼部手術ステップアップ講座:症例で身につける実力」

講演会終了後は、情報交換会を予定しております。

URLもしくは2次元コードより、裏面の事前申し込みへのご協力をよろしくお願い申し上げます。

共催 / 帝京大学医学部眼科学講座・千寿製薬株式会社

特別講演 I

「この一滴が世界を変える ― TRPV1拮抗薬が拓く“目を潤す”新たな治療選択肢と実臨床への期待―」



内野 美樹 先生（ケイシン五反田アイクリニック 院長）

ドライアイ診療における最大の課題は、他覚所見の改善と患者の自覚症状の乖離による治療中断であった。

2026年4月に発売された世界初のTRPV1拮抗薬アバレプトは、痛みや乾燥感のセンサーであるTRPV1を阻害する新機序を持つ。

本講演では、発売以降に本剤を使用した自験例のリアルワールドデータを初公開する。

既存薬で拭いきれなかったゴロゴロ感やしみる痛みが、点眼早期から劇的に軽減した実際の臨床経過を供覧。

速やかな症状改善がもたらす高い動機付けと、適切な指導による良好なアドヒアランス維持の相乗効果を検証する。

「不快感の解消」という明確な成功体験が、いかに医師・患者間の強固な信頼関係を構築し、治療継続率を向上させるか。

患者満足度を最大化するための実臨床マネジメントと今後の展望を詳述する。

略 歴

2001年 山梨医科大学卒
2001年 慶應義塾大学眼科学教室
2006年 両国眼科クリニック 院長
2012年 ハーバード大学医学部スケペンス眼研究所
2015年 ハーバード公衆衛生大学院 修士取得
2016年 慶應義塾大学医学部眼科学教室 特任講師
2020年 ケイシン 五反田アイクリニック 院長

特別講演 II

「白内障・前眼部手術ステップアップ講座： 症例で身につける実力」



大鹿 哲郎 先生（筑波大学 特任教授）

41年間も大学や研修施設で手術をしていると、もう実に様々な状況に遭遇します。患者さんもそうですし、助手やスタッフもそうです。これだけ長く、様々な経験を積んできたのだから、たいていのことには驚かないと思っていましたが、全くの勘違い。世の中に、驚きの種は尽きません。

あのシャーロック・ホームズでさえ、「初めて見る事件など存在しない」と豪語しながらも、毎回ワトスンに驚きの顔を見せていたではありませんか。名探偵ですら然り。

探検家のアムンゼンはこんな言葉を残しています。「勝利は、十分な準備をした者のもとに訪れる。人はそれを運と呼ぶ」。手術室で「運が良かった」と胸をなでおろした経験は、誰にでもあるはずです。しかし本当にそれは「運」だったのでしょうか？実は、過去の無数の経験と判断の積み重ねが、その瞬間を「運」に見せていただけたかもしれません。

本講演では、演者がこれまでに遭遇した様々な症例を提示します。手術室で何が起こったのか、そしてその状況にどのように立ち向かったのか。「なぜその判断をしたのか」「あのとき他にどんな選択肢があったのか」を包み隠さずお話しできればと思います。

すべての症例は、演者にとってかけがえのない「先生」でした。その先生たちから教わったことを、そのままお伝えします。皆さまが明日の手術室で、少しでも「頼もしい自分」に出会えますように。

略 歴

1985年 東京大学医学部卒業	2007年 日本眼内レンズ屈折手術学会理事長
1985年 東京大学医学部眼科学教室	2017年 日本角膜学会理事長
1995年 東京大学医学部講師	2017年 日本眼科学会理事長
1997年 Louisiana State University, Visiting Assistant Professor	2020年 日本眼科AI学会理事長
1998年 東京大学医学部助教授	2025年 アジア太平洋眼科学会 (APAO) President
2002年 筑波大学医学医療系眼科教授	2026年 筑波大学特任教授